

経済思想史Ⅱ

科目ナンバー 8C214
専門 基礎系 選択 2
単位

乗川 聡

1. 授業の概要(ねらい)

・「経済思想史Ⅱ」では、①フランス産業革命の特殊性、②アメリカナイゼーションの経済学的意義、③日本経済近代化の思想的背景を同時代の学説(サン＝シモンおよびサン＝シモン派、テイラー、渋沢栄一、etc.)を通じて学ぶことにより、DP3に関する知識、技能、態度を修得します。
・授業形式は講義を中心としますが、大学生に必要なとされるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の向上を目指し、合計3回、復習テストとグループによるディスカッションを実施します。

2. 授業の到達目標

・学生は、代表的な経済学説・経済思想の学習を通じて、以下の授業目標の達成を目指します。
1.本講義で取り上げた経済学者・経済思想家たちの学説の特徴を、彼らの生涯と同時代の政治的・経済的状况を学ぶことによって理解する。
2.「経済史概論」で学習した「資本主義の普遍性」を、本講義で取り上げた経済学者・経済思想家たちの学説を通じてより深く理解する。
3.「経済史概論」で学習した「資本主義の多様性」を、本講義で取り上げた経済学者・経済思想家たちの学説を通じてより深く理解する。

3. 成績評価の方法および基準

・グループ学習(25%)、テスト(25%)、レポート(50%)で評価します。
・テストおよびレポートのフィードバックについては以下の通り実施します。
・テスト(小テスト、復習テスト):答案回収後直ちに解説します。
・レポート:希望者に対し、個別に口頭で講評します。

4. 教科書・参考文献

教科書
・テキストは指定しません。必要に応じてプリントを配布します。

5. 準備学修の内容

・歴史の授業は現状との比較によって理解が深まりますので、新聞・テレビ・インターネット等で毎日ニュースを見る習慣を身に付けてください(1日10分以上)。
・毎回実施する小テストの予習として、開講時に配布する政治・経済用語集(英語)とヨーロッパ地図を暗記してください(30分以上)。
・グループ学習の際に実施する復習テストの準備として、試験範囲のレジュメの内容を必ず確認・暗記してください(2時間以上)
・グループ学習の前週にディスカッション(=レポート)の課題を発表するので、充実した議論ができるよう情報収集・論点整理をしてください(2時間以上)。具体的には、事前にメモを作成したうえでディスカッションに臨むことを推奨します。
・レポート作成に際しては、レジュメ、教員による講義、そしてディスカッションの内容を必ず反映させてください。

6. その他履修上の注意事項

・この科目は1年配当の「経済史概論Ⅰ」と「経済史概論Ⅱ」を修得していることを前提として授業を進めます。
・「経済思想史Ⅰ」と「経済思想史Ⅱ」は内容が連続していますので、必ず同一年度に履修してください。
・この科目は3年配当ですが、多学科・多学年によるディスカッションを期待していますので、4年生の履修も歓迎します。
・留学生には、ディスカッションに参加できる程度の日本語会話能力が必要とされます。
・この授業を通じて、受講生の皆さんが多様な価値観を理解し、それを受け入れる寛容な態度を身に付けられることを期待します。

7. 授業内容

【第1回】	ガイダンス
【第2回】	資本主義の多様性
【第3回】	フランス産業革命とユートピア社会主義(1):現代フランス経済の特徴、フランス産業革命の特徴
【第4回】	フランス産業革命とユートピア社会主義(2):ユートピア社会主義、サン＝シモンの生涯と学説
【第5回】	フランス産業革命とユートピア社会主義(3):サン＝シモン主義の展開、実践的サン＝シモン主義
【第6回】	復習とグループ学習(1):第2～5回の授業内容に基づくテストとディスカッション
【第7回】	アメリカナイゼーションの思想と理論(1):「アメリカ的方法」の起源と発展
【第8回】	アメリカナイゼーションの思想と理論(2):テイラーの生涯と学説(科学的管理法と「精神革命」)
【第9回】	アメリカナイゼーションの思想と理論(3):テイラー主義のヨーロッパにおける普及と発展
【第10回】	復習とグループ学習(2):第7～9回の授業内容に基づくテストとディスカッション
【第11回】	日本経済の発展と経済思想(1):開国期の日本経済、日本の産業革命、戦間期の日本経済
【第12回】	日本経済の発展と経済思想(2):渋沢栄一の生涯と思想、パリの渋沢栄一
【第13回】	日本経済の発展と経済思想(3):渋沢の実業・社会事業とその思想的背景、渋沢の現代的意義
【第14回】	復習とグループ学習(3):第11～13回の授業内容に基づくテストとディスカッション
【第15回】	総括